



～ほけんだより10月号～



令和8年10月1日
長野こども学園

朝晩は、少しずつ秋の気配が感じられる季節になりました。現在大阪府内では、例年より早くインフルエンザの流行が始まっています。また、新型コロナウイルスやRSウイルスなどの感染症も同時に流行しております。園では感染拡大を防ぐ為、丁寧な手洗いや換気など対策を引き続きおこなっています。子ども達は、体調不良をうまく言葉にできない事も多いので「なんとなく機嫌が悪く元気がない」「いつもより食欲がない」などといった小さなサインを見逃さない事が大切です。少しでも普段と違う変化を感じた時は、ゆっくりと静養してから元気に登園しましょう。

インフルエンザについて

乳幼児がインフルエンザにかかると、発熱や咳、鼻水や倦怠感、脱水などの症状が出ます。重症化すると呼吸困難や喘鳴になり、まれに肺炎や脳症、熱性けいれんなど合併症を引き起こすことがあります。毎朝、体温測定をして普段通りの体調や食欲があるのかを確認し、症状があればすぐにかかりつけ医に受診しましょう。

「インフルエンザの予防接種について」

10月からインフルエンザワクチン接種が始まります。重症化しないために受けておくことが望ましいです。

① インフルエンザの皮下注射について

生後6か月から12歳までは免疫がつきにくいので2回接種します。13歳以上は、1回接種となります。インフルエンザのワクチンの予防効果は、約5か月間持続するので早めに接種しましょう。重度のアレルギーやけいれん、基礎疾患や免疫不全、喘息発作などがある場合接種できません。必ず母子手帳持参の上、かかりつけの医師に相談してから受けましょう。

② 鼻スプレーをするインフルエンザ生ワクチン(フルミスト)について

2歳から18歳まで対象で、左右の鼻にワクチンを噴霧するため、針を刺す必要がなく1回の接種で完了です。詳細はかかりつけの医療機関にお聞きください。

登園の基準(コロナウイルスも同様)

発症日を0日として、5日を経過していること。なおかつ、解熱後3日経過していること。

* 上記2つの条件を両方とも満たした日より登園可能です。

また、登園届をご記入して頂いてから登園になります。

乳幼児の場合、なぜ解熱後3日なの？

- ① ウイルスの排出期間が長い。② 集団感染の防止。
- ③ 熱や症状が、ぶり返しやすい。

乳幼児は、一度解熱しても再度発熱する「二峰性発熱」が見られることがあり、また体力の回復にも時間がかかりやすい事を考慮し、1日多く設定されています。

手洗い指導しました

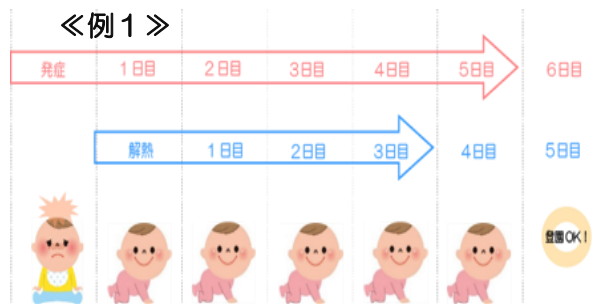


先日さくら組の子ども達と手洗いの紙芝居をした後、手のひらにバイキンマンのスタンプを押して、洗い残がないように「ごしごし洗い」や「ねじねじ洗い」の練習をしました。

ご家庭でも食事前やトイレ後、帰宅後など手洗いの時、親子で楽しく行ってみてください。

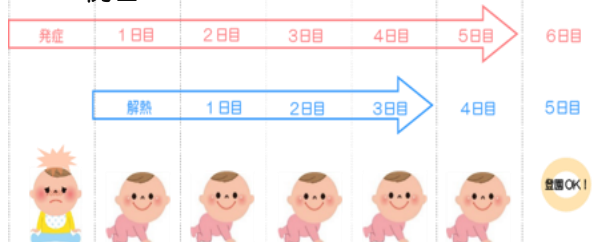
インフルエンザに罹患したら

＜例1＞



この場合、発症後6日目に登園できます

＜例2＞



この場合、解熱して3日経過しても発症5日が経過していない為、登園出来ません。6日目に登園出来ます。

＜例3＞



この場合、発症後5日が経過していても、解熱後3日が経過していないため登園できません。発症後7日目に登園できます。

9月の感染者数

RSウイルス・・・14名